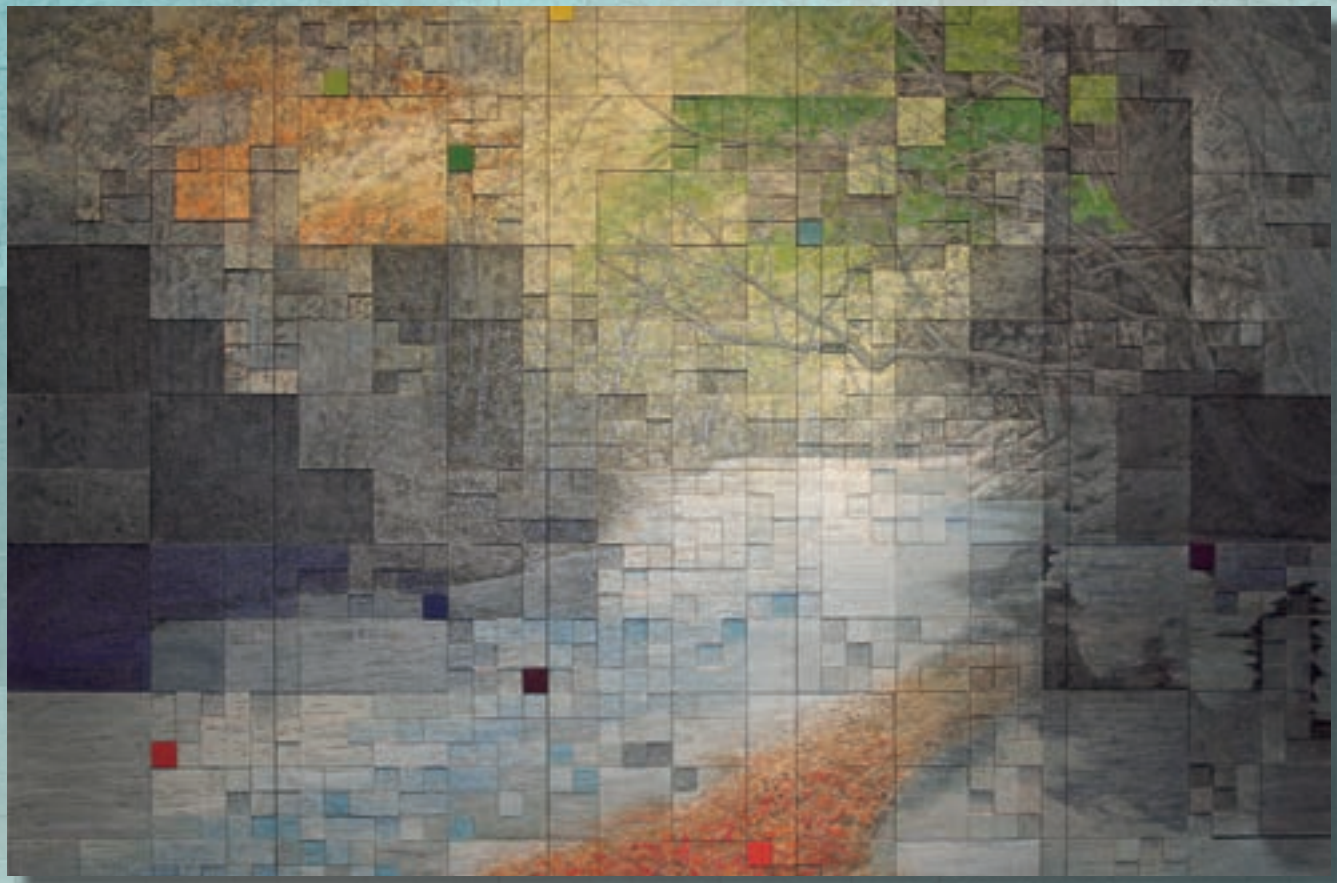
超精密とメカトロメーションを追求する
Seibu

第87期　株主報告書

2019年4月1日から2020年3月31日まで



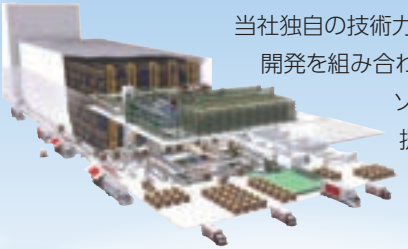
西部電機株式会社

証券コード　6144

西部電機は技術と品質で、
そして独自の創造力で広く世界に貢献いたします。

当社は「超精密とメカトロメーション®の追求」を理念に、
物流マテハンシステム、産業機械、放電加工機、工作機械等、多彩な技術で
明日を拓くメカトロニクスメーカです。

搬送機械事業



コンパクトで経済的なシステムを構築できる当社独自の技術力と、ソフトウェア開発を組み合わせた「総合物流ソリューション」を提案しています。

Seibu

産業機械事業

水・電気・ガス・石油などエネルギーを暮らしに導くため大切な役割を担うバルブアクチュエータとゲート駆動装置を提供しています。

精密機械事業

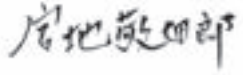
ピッチ加工精度で定評のワイヤ放電加工機、小物精密部品加工に応えるNC旋盤、自由形状加工を可能とした切削加工機などを開発しています。

「チャレンジ240」の3年目
「危機感」と「決断」と「スピード」で市場競争を勝ち抜いてまいります。

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

さて、当社グループの第87期（2019年４月１日から2020年３月31日まで）の決算が終了いたしましたので、その概況をご報告申しあげます。

2020年６月

取締役社長 

Q 当期の業績についてお教えください。

A 受注高、売上高、経常利益において、期首の計画を達成しました。

当連結会計年度におけるわが国経済は、総じて緩やかな拡大を背景にスタートしたものの、国外においては米中貿易摩擦の影響が、国内においては、台風等の大型災害の影響がありました。さらには新型コロナウイルスの蔓延によって、国内のみならず世界規模で経済への大きな打撃を受けており、今なお終息の気配が見えていません。

現在、景気の冷え込みが懸念され、先の景気動向や設備投資動向の不透明感は強まっています。

この様な情勢の中で、当社グループとしましては、前連結会計年度からスタートした中期経営計画「チャレンジ240」を達成すべく活動しております。どのような環境下にありましても「危機感」と「決断」と「スピード」を常に念頭におき、変化に対応することによって、受注・売上を拡大し、市場競争を勝ち抜くべく、全社を挙げて努力してまいりました。

その結果、当社グループの連結業績は、受注、売上、経常利益において、期首の計画を達成したものの、受注高は主に搬送機械事業と精密機械事業が減少して、217億7千万円（前期比22.1%減）となりました。売上高は、産業機械事業は増加したものの、搬送機械事業ならびに精密機械事業が減少して237億4千4百万円（前期比19.0%減）となりました。損益においてはコストダウンと経費節減に当社グループ一丸となって注力いたしましたが、経常利益は22億6百万円（前期比33.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は13億8千2百万円（前期比39.5%減）となりました。

Q 次期の見通しについてはいかがですか。

A 受注・売上を拡大し、市場競争を勝ち抜くべく、全社を挙げて努力してまいります。

次期のわが国経済は、諸外国の通商問題および地政学リスク、さらには新型コロナウイルス感染症の世界的大流行により、経済へのダメージは計り知れず、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループといたしましては、2018年度から2020年度までの3カ年における中期経営計画「チャレンジ240」の最終年度であり、どのような環境下にありましても、「危機感」と「決断」と「スピード」を常に念頭におき、変化に対応することによって、受注・売上を拡大し、市場競争を勝ち抜く所存であります。

なお、通期の連結業績見通しとしては、売上高232億6千万円、経常利益20億2千万円、親会社株主に帰属する当期純利益13億5千万円を計画しております。

Q 株主の皆様へメッセージをお願いします。

A 期末配当金は1株当たり3円増配とさせていただきました。

当社は安定的な配当を継続して行うことを基本方針としており、業績の向上によって1株当たりの利益水準を高めるとともに、中長期の展望、財務状況等を考慮し、これに対応した配当を決定すべきと考えております。当期の期末配当につきましては1株につき12円50銭を予定しておりましたが、株主の皆様の日頃のご支援にお応えし、より一層の株主還元を図るため、1株につき3円増配し、15円50銭とさせていただきたいと存じます。この結果、中間配当金を含めました当期の配当金は、1株につき28円となります。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

トピックス・Topics

搬送機械事業 自動車業界向け、「新型ニッケル水素電池充放電設備」の量産ライン受注

現在、自動車業界においてはHV（ハイブリッド）、PHV（プラグインハイブリッド）、EV（電気自動車）の市場が拡大しており、充電走行距離の長い電池を量産する設備が求められています。そのような中、マテハン事業部では一昨年テストラインとして導入した新型のニッケル水素電池の量産化が決定し、初号機ラインを受注することができました。

この設備は、成型後のニッケル水素電池を充放電装置や検査装置へスタッカクレーンにより直接供給し、高温室内に設置された自動倉庫にてエージングを行い、電池を活性化させるなど一連の工程を全自動で行うシステムです。

今回の受注は、お客様の要求を聞き出し提案に折込むとともに、VEによるコストダウンも同時進行で進めるなど、事業部一体で取り組んだ結果であります。

今後も、同規模の量産ラインが数セット計画されています。更なる受注拡大に向け、事業部一体となって邁進します。

搬送機械事業 パレ/デパレタイザの開発商品を国際展示会に出展

近年、日本国内では人手不足が非常に深刻化しており、特に物流業界の自動化が急務となっています。そのような状況の一助となるため、出荷段ボールの積付作業や積み替え作業を高速・省スペースで自動化するパレ/デパレタイザを開発し、国際ロボット展や国際物流総合展で訴求しました。

出展した機器は、多関節ロボットより設置面積とコストが50%削減できる自動ケースデパレシステム「ファインピッカーC」と、作業員2名分の処理能力を発揮し、6輪カートへ自動でケースをパレタイズするシステム「カートケースローダー」の2機種です。

若手の営業マンが自らナレータとなり製品の特長をアピールし、既存顧客からの高評価と併せて、新規顧客からの問い合わせも多数お寄せ頂いております。

今後は、ユーザーの要求と期待に応えるように、パレ/デパレ市場でのシェアアップを図ってまいります。

産業機械事業 停電時バックアップシステム　SBS（Seibu・Backup・System）開発

近年異常気象に伴う大型台風や地震災害により、大規模停電が社会問題となっています。産業機械事業部の主力製品であるバルブアクチュエータは生活基盤を支えるインフラ設備に広く導入されており、停電時緊急動作の市場要求も高まりつつあります。この市場ニーズに応えるため「**SBS（Seibu・Backup・System）**」の開発を行いました。

一般的な停電対策は発電機やUPS（無停電電源装置）などを用いて設備全体のバックアップ（停電時電力供給）を行う為、大規模設備となり維持管理にも負担を要します。一方**SBS**はアクチュエータ内にバッテリを内蔵することで停電時、単独動作が可能です。また簡易AIを有し停電等の有事の際には、自動検知・自己診断で設備に対し最適な緊急動作を担うことができます。この機能により上位指令装置の停電対策を必要としないリーズナブルなシステム提案が可能となりました。

既存関連市場を始め民間企業様に広くPRし、事業展開を図ります。

Semflex-VP060
(Type:SBS)

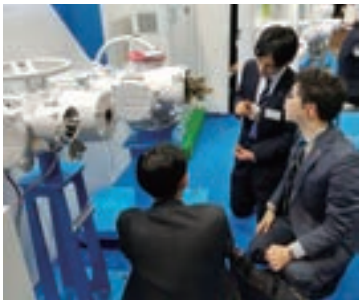
産業機械事業 「第32回　プラントショー展示会出展」(2019年11月20日～22日 in 幕張メッセ)

電気・ガス・水道・化学等プラント関連機器の展示PRを主とした展示会「プラントショー」に出展いたしました。世界各国から約400社が集う2年に1回の大きな展示会であり、今回で32回目の開催となります。

出展にあたり「省人化対策」「自然災害による大規模停電対策」の二つのコンセプトを掲げSemflexシリーズ(Intelligent型)5台に加え停電対策システムを展示しました。

Seibuブースには、化学関係の企業、エンジニアリングメーカ、機器メーカ、バルブメーカ、機械商社など様々な業界より695名のお客様が来場され、既存関連市場へのPRは元より、現在市場参入ができていない化学プラントからの採用オファーを頂くことができました。

今後は、有力顧客への営業展開を積極的に行い新たな市場開拓に取り組んでまいります。



MPSC-20電源装置外観

精密機械事業 ワイヤ放電加工機 新加工電源の開発

精密機械事業部では、新加工電源MPSC-20を搭載したワイヤ放電加工機のリリースを開始しました。新加工電源は、最新半導体パワーデバイスを採用し、「高性能」「省エネ」を実現しています。

「高性能」については、加工パルスのスイッチング周波数を約3倍に向上させたことにより、従来の加工電源では不可能であった面粗さRa0.081μm Rz0.607μmを実現することができました。「省エネ」については、電源の回路方式を見直し効率化を図ったことにより、消費電力を最大22%低減することができました。

今後も、お客様の生産性向上に貢献できるワイヤ放電加工機の開発に、事業部一体となって取り組んでまいります。

精密機械事業 「高精密自由形状内面研削盤 SFG−35UP」医療機器メーカへ納入

SFGシリーズはスマホ関連や自動車部品などの金型市場を中心に納入してきましたが、今回新たに大手医療機器メーカへ納入することができました。

用途は注射器部品の金型部品用で、注射器針を差し込むテーパ部の加工がポイントとなりました。このテーパ部には「ルアーテーパ」という国際規格が採用されており、差し込むだけで簡単に機密性の良い接続ができるため、医療機器、理化学器具を中心に広く普及しています。

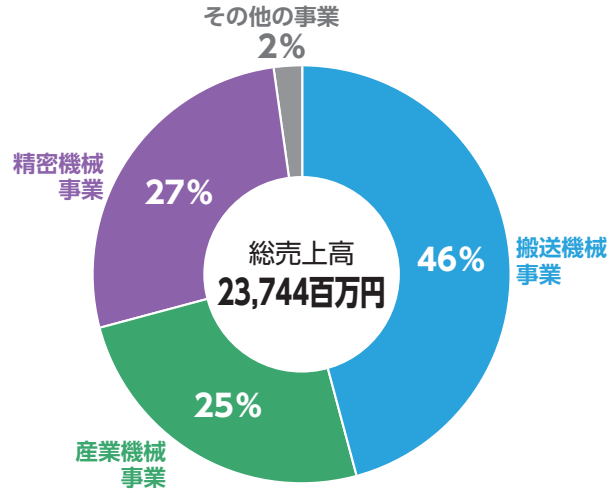
従来4時間を要していた加工時間が1時間に短縮され、加工精度についても目標のテーパ角度に対してわずか0.001度の差で仕上げることができ、大変高い評価を頂きました。

今後も生販一体となり、受注拡大に向けチャレンジしてまいります。

SFG-35UP

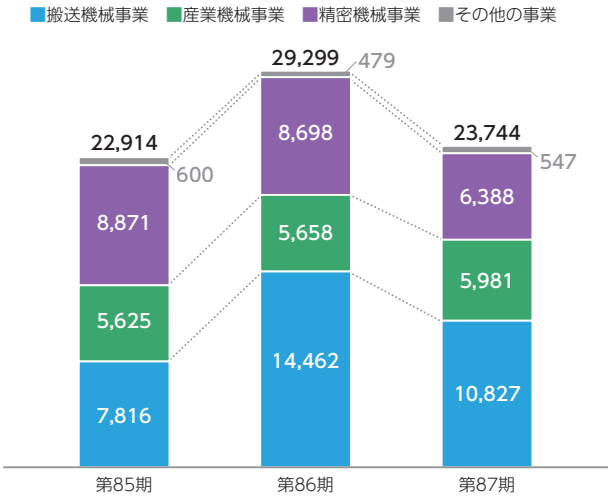
主要な事業別営業の概況 • *Operating Overview*

●事業別売上高構成比



●事業別売上高

単位:百万円



■搬送機械事業

売上高 **10,827百万円**

(前期比 25.1%減)

搬送機械事業では、大口顧客・既存顧客のシェアアップに注力したことによるリピート受注や、製造業の生産・物流分野などに最適なソリューション提案を行い、さらにはサービス・メンテナンス分野にも注力しましたが、大口物件が減少して受注高は84億5千1百万円(前期比38.0%減)となり、売上高も108億2千7百万円(前期比25.1%減)となりました。

主要製品

- 立体自動倉庫
- FAシステム
- ケース自動ピッキングシステム
- 搬送・ハンドリングシステム
- ロボティクス・マテハン

ケース自動ピッキングシステム(高速フェースピッカー)

FAシステム(DIOシステム)

ロボティクス・マテハン(ファインピッカーC)

■産業機械事業

売上高 **5,981百万円**

（前期比 5.7%増）

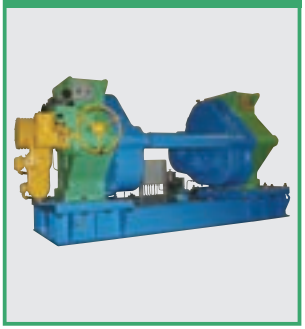
産業機械事業では、民需へのアプローチは成果を上げましたが、官需については全国各地での台風被害復旧のため計画変更の影響を受け、受注高は60億7千8百万円（前期比0.2％減）となりましたものの、売上高はゲート関連が増加して59億8千1百万円（前期比5.7%増）となりました。

主要製品

- バルブアクチュエータ
- ゲート駆動装置

バルブアクチュエータ・プラント

ゲート駆動装置（大型60t）



■精密機械事業

売上高 **6,388百万円**

（前期比 26.6%減）

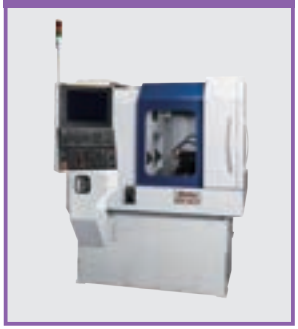
精密機械事業では、国内は地域密着型営業を展開し、新規顧客の開拓に努めました。また国内外の精密工作機械の商談は増加したものの、新型コロナウイルス蔓延の影響で中国向けワイヤ放電加工機の商談や出荷業務が保留となり、受注高は66億8千5百万円（前期比14.0％減）、売上高は63億8千8百万円（前期比26.6%減）となりました。

主要製品

- 超精密・高精密ワイヤ放電加工機
- 超精密ワイヤ放電加工機（油仕様）
- 高精密小形NC旋盤
- 正面旋盤

超精密ワイヤ放電加工機（MEX15）

高精密自由形状内面研削盤（SFG-35P/HP/UP）



連結財務諸表(要約) • Financial Statements

単位:百万円(金額は単位未満を切り捨てております。)

連結貸借対照表

科　目	第86期 2019年3月31日	第87期 2020年3月31日
資産の部		
流動資産	24,100	21,037
現金及び預金	10,577	7,651
受取手形及び売掛金	8,850	8,111
電子記録債権	1,487	1,560
仕掛品	1,127	1,450
原材料及び貯蔵品	1,967	2,196
その他	93	69
貸倒引当金	△2	△0
固定資産	15,028	14,282
有形固定資産	10,103	10,079
建物及び構築物	3,990	3,767
機械装置及び運搬具	904	1,106
土地	5,006	5,006
建設仮勘定	0	—
その他	201	198
無形固定資産	24	32
投資その他の資産	4,900	4,170
投資有価証券	3,855	2,957
長期貸付金	29	29
退職給付に係る資産	722	736
繰延税金資産	233	395
その他	94	87
貸倒引当金	△35	△35
資産合計	39,129	35,319

科　目	第86期 2019年3月31日	第87期 2020年3月31日
負債の部		
流動負債	13,146	9,236
支払手形及び買掛金	2,212	2,141
電子記録債務	7,403	4,164
短期借入金	416	416
未払費用	1,627	1,436
前受金	192	167
未払法人税等	752	467
役員賞与引当金	91	56
その他	449	386
固定負債	3,648	3,578
長期未払金	99	92
再評価に係る繰延税金負債	1,477	1,477
役員退職慰労引当金	14	17
製品保証引当金	849	767
退職給付に係る負債	1,133	1,157
その他	74	65
負債合計	16,794	12,815
純資産の部		
株主資本	17,069	17,882
資本金	2,658	2,658
資本剰余金	2,616	2,616
利益剰余金	11,798	12,612
自己株式	△4	△4
その他の包括利益累計額	5,265	4,621
その他有価証券評価差額金	1,912	1,386
土地再評価差額金	3,363	3,363
退職給付に係る調整累計額	△10	△128
純資産合計	22,334	22,504
負債純資産合計	39,129	35,319

連結損益計算書

科　目	第86期 2018年4月 1日から 2019年3月31日まで	第87期 2019年4月 1日から 2020年3月31日まで
売上高	29,299	23,744
売上原価	21,432	17,400
売上総利益	7,867	6,343
販売費及び一般管理費	4,668	4,266
営業利益	3,198	2,077
営業外収益	143	145
営業外費用	13	16
経常利益	3,328	2,206
特別利益	0	0
特別損失	1	149
税金等調整前当期純利益	3,327	2,057
法人税、住民税及び事業税	983	561
法人税等調整額	60	113
当期純利益	2,283	1,382
親会社株主に帰属する当期純利益	2,283	1,382

連結包括利益計算書

科　目	第86期 2018年4月 1日から 2019年3月31日まで	第87期 2019年4月 1日から 2020年3月31日まで
当期純利益	2,283	1,382
その他の包括利益	△887	△643
包括利益	1,395	738

連結キャッシュ・フロー計算書

科　目	第86期 2018年4月 1日から 2019年3月31日まで	第87期 2019年4月 1日から 2020年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	850	△1,490
投資活動によるキャッシュ・フロー	△465	△847
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,142	△588
現金及び現金同等物の増減額	△756	△2,926
現金及び現金同等物の期首残高	11,194	10,437
現金及び現金同等物の期末残高	10,437	7,511

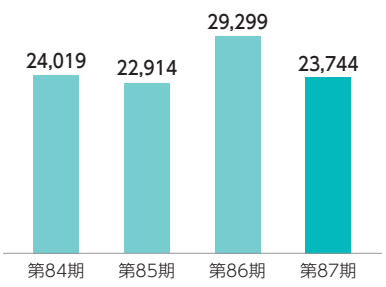
連結株主資本等変動計算書

第87期 2019年4月1日から2020年3月31日まで	株主資本					その他の包括利益累計額	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	2,658	2,616	11,798	△4	17,069	5,265	22,334
当期変動額							
剰余金の配当			△568		△568		△568
親会社株主に帰属する当期純利益			1,382		1,382		1,382
自己株式の取得				△0	△0		△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△643	△643
当期変動額合計	—	—	813	△0	813	△643	170
当期末残高	2,658	2,616	12,612	△4	17,882	4,621	22,504

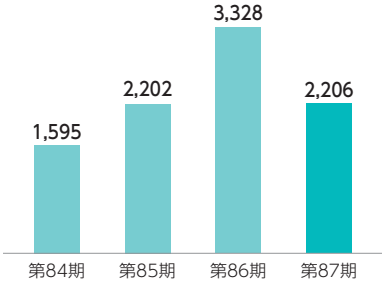
連結業績ハイライト • Financial Highlights

科　目	第84期 2016年度	第85期 2017年度	第86期 2018年度	第87期 2019年度(当連結会計年度)
売上高（百万円）	24,019	22,914	29,299	23,744
経常利益（百万円）	1,595	2,202	3,328	2,206
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	408	1,508	2,283	1,382
1株当たり当期純利益	26円96銭	99円56銭	150円71銭	91円23銭
総資産（百万円）	31,229	38,686	39,129	35,319
純資産（百万円）	19,072	21,514	22,334	22,504
1株当たり純資産額	1,258円89銭	1,420円12銭	1,474円24銭	1,485円48銭
自己資本比率（%）	61.1	55.6	57.1	63.7

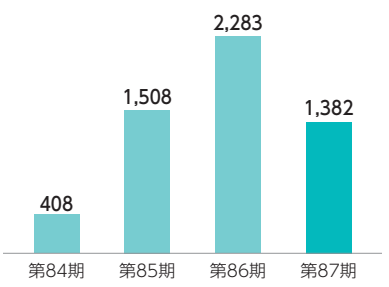
売上高　単位：百万円



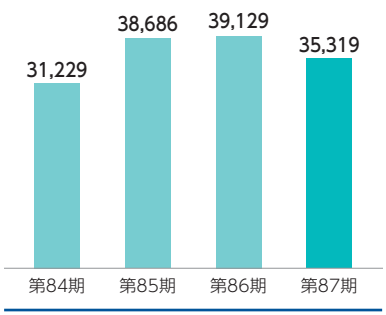
経常利益　単位：百万円



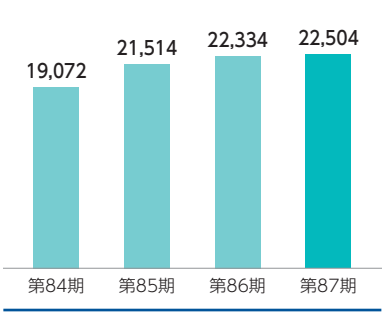
親会社株主に帰属する当期純利益　単位：百万円



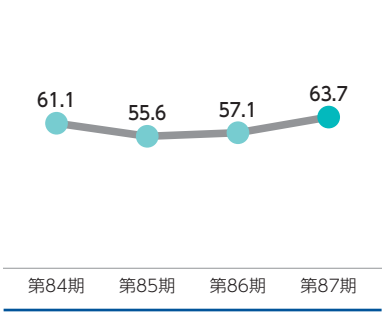
総資産　単位：百万円



純資産　単位：百万円



自己資本比率　単位：%



(注)「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号　平成30年2月16日)等を第86期連結会計年度より適用しているため、それ以前の連結会計年度に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

会社概要 • Corporate Profile

2020年3月31日現在

会社の概況

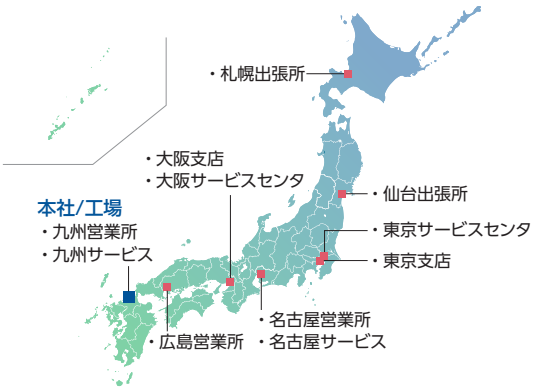
商　　号	西部電機株式会社
英 訳 名	Seibu Electric＆Machinery Co.,Ltd.
本店所在地	福岡県古賀市駅東三丁目３番1号
設　　立	1939年2月1日
資 本 金	26億5,840万円
従業員数	473名（連結525名）

役　員

2020年6月26日現在

取締役社長（代表取締役）	宮地　敬四郎
常務取締役	税所　幸一
取　締　役	溝田　安彦
取　締　役	佐藤　徳生
取　締　役	吉田　千春
取　締　役	後藤　俊哉
社外取締役	井上　信之
社外取締役	馬場　信哉
常勤監査役	大串　秀文
社外監査役	大塚　丈徳
社外監査役	岸川　浩幸

事業所



株式の状況

発行可能株式総数	32,980,000株
発行済株式の総数	15,160,000株
株　　主　　数	2,866名

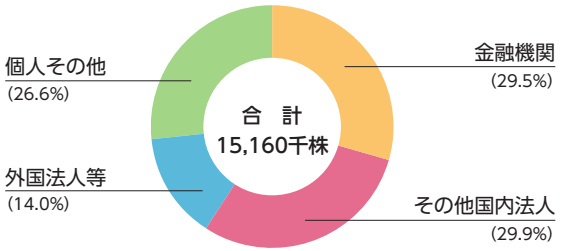
大株主

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
株式会社安川電機	2,630	17.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	1,506	9.9
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	1,365	9.0
株式会社豊田自動織機	1,106	7.3
MSIP CLIENT SECURITIES	675	4.4
株式会社三菱UFJ銀行	650	4.2
株式会社福岡銀行	633	4.1
みずほ信託銀行株式会社	626	4.1
株式会社西日本シティ銀行	589	3.8
西部電機従業員持株会	424	2.8

（注）1. 持株比率は自己株式（10,300株）を控除して計算しております。

2. シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社から2019年11月20日付で提出され、公衆の縦覧に供されている大量保有報告書の変更報告書において、2019年11月13日現在同社が3,455,700株（保有割合22.79%）を保有している旨が記載されております。しかし、当社として当事業年度末における同社の実質所有株式数の確認ができていないため、上記大株主には含めておりません。

所有者別株式分布状況



■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
剰余金の配当	毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
中間配当	取締役会の決議によって、毎年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
公告方法	電子公告により、当社ホームページ(https://www.seibudenki.co.jp/)に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
基準日	毎年3月31日 その他必要があるときは、取締役会の決議によってあらかじめ公告いたします。

ホームページのご案内

当社Webサイトでは、事業内容やIR情報などがご覧いただけます。

https://www.seibudenki.co.jp/

または、西部電機　検索

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合【特別口座の株主様】	
お問合せ先	お取引の証券会社等になります。 (ただし、支払明細発行については、右記【特別口座の株主様】のお問合せ先までご連絡ください。)	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社　証券代行部 フリーダイヤル　0120-288-324 (土・日・祝日を除く9：00～17：00)	
お取扱店		みずほ証券株式会社	本店、全国各支店および営業所、プラネットブース (株式会社みずほ銀行内の店舗)
		みずほ信託銀行株式会社	本店および全国各支店
ご注意	未払配当金のお支払いについては、みずほ信託銀行株式会社および株式会社みずほ銀行の本店および全国各支店にてお取扱いいたします。(みずほ証券株式会社では取次のみとなります。)		

株主優待制度のお知らせ

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を向上させ、より多くの株主様に中長期的に保有していただけることを目的に、株主優待制度を実施しております。

株主優待制度の概要	(1)対象となる株主様	3月末現在の株主名簿に記載された当社株式1単元(100株)以上保有の株主様。
	(2)優待内容	保有株式数100株以上でクオカード1,000円分を進呈いたします。
	(3)贈呈時期	定時株主総会終了後の6月下旬の発送を予定しております。

表紙の絵は、本社玄関フロアに展示されている陶版画で、奥入瀬渓流の四季をモチーフに『自然随順』を表現しております。
当社が「我々のロマン」として掲げるスローガン「我々は技術の本質を謙虚に探索し自然随順に即した応用で広く世界に貢献しよう」は、好不況にかかわらず、ロマンを胸に、機械文明と自然が共存し得るとの信念で謙虚さと誇りをもって商品を作り、広く世界に貢献することを宣誓しています。

西部電機株式会社

●お問い合わせ先

〒811-3193　福岡県古賀市駅東三丁目3番1号　TEL:092-941-1500(代表)

UD FONT

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915 www.fsc.org

VEGETABLE OIL INK

環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。